令和８年度　台町3丁目2号線排水整備工事

図面番号	図　面　の　名　称	備　考
1	現況平面図	
2	計画平面図	
3	縦断管整備詳細図(1)	
4	縦断管整備詳細図(2)	
5	横断図(1)	
6	横断図(2)	
7	潰地予定図	
8-1	施工計画平面図（参考）(1)	
8-2	施工計画平面図（参考）(2)	

現 況 平 面 図

S=1/500

基準点成果表

点　名	X	Y	備　考
S3交35	1179.920	2027.723	4級基準点
T1	1196.674	2064.402	4級基準点
T2	1250.696	2061.318	4級基準点

※S3交35の成果について
本点は、3級基準点(地積図根点)として、国土地理院に成果が登録されているが、RTK-GNSS VRS方式で位置確認したところ、水平位置で10cm以上の差異があったため、4級基準点として成果を付け直している。



年　度	令和 8 年度		
路 線 名	台町3丁目2号線		
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図 面 名	現 況 平 面 図		
縮　尺	1/500	図面番号	1
測量年月	令和　8 年　9 月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

計 画 平 面 図

S=1/500

設計中心線　曲線表　　世界測地系（測地成果2024）

IPNO	BP	IP1(L)	IP2(R)	EP
IA		84-24-58	54-45-03	
SP	0.00	22.086	50.306	53.643
X	1222.564	1221.714	1193.543	1191.781
Y	2072.771	2050.701	2049.038	2046.204

基準点成果表

点　名	X	Y	備　考
S3交35	1179.920	2027.723	4級基準点
T1	1196.674	2064.402	4級基準点
T2	1250.696	2061.318	4級基準点

※S3交35の成果について
本点は、3級基準点（地積図根点）として、国土地理院に成果が登録されているが、RTK-GNSS VRS方式で位置確認したところ、水平位置で10cm以上の差異があったため、4級基準点として成果を付け直している。

2026年8月28日
飛澤氏へ設計内容、買収地の説明を行った。
その際に、台町3丁目125-49内に設置された集水桝は、飛澤氏が所有する排水施設であることを確認した。
確認者：株式会社飛澤金属工業 代表取締役 飛澤隆洋 氏
上流の暗渠管、下流の流末管については資料の保管がないため詳細は不明

網走市駒場北1丁目

網走市台町3丁目

台町3丁目4眺洋通

台町3丁目2号線

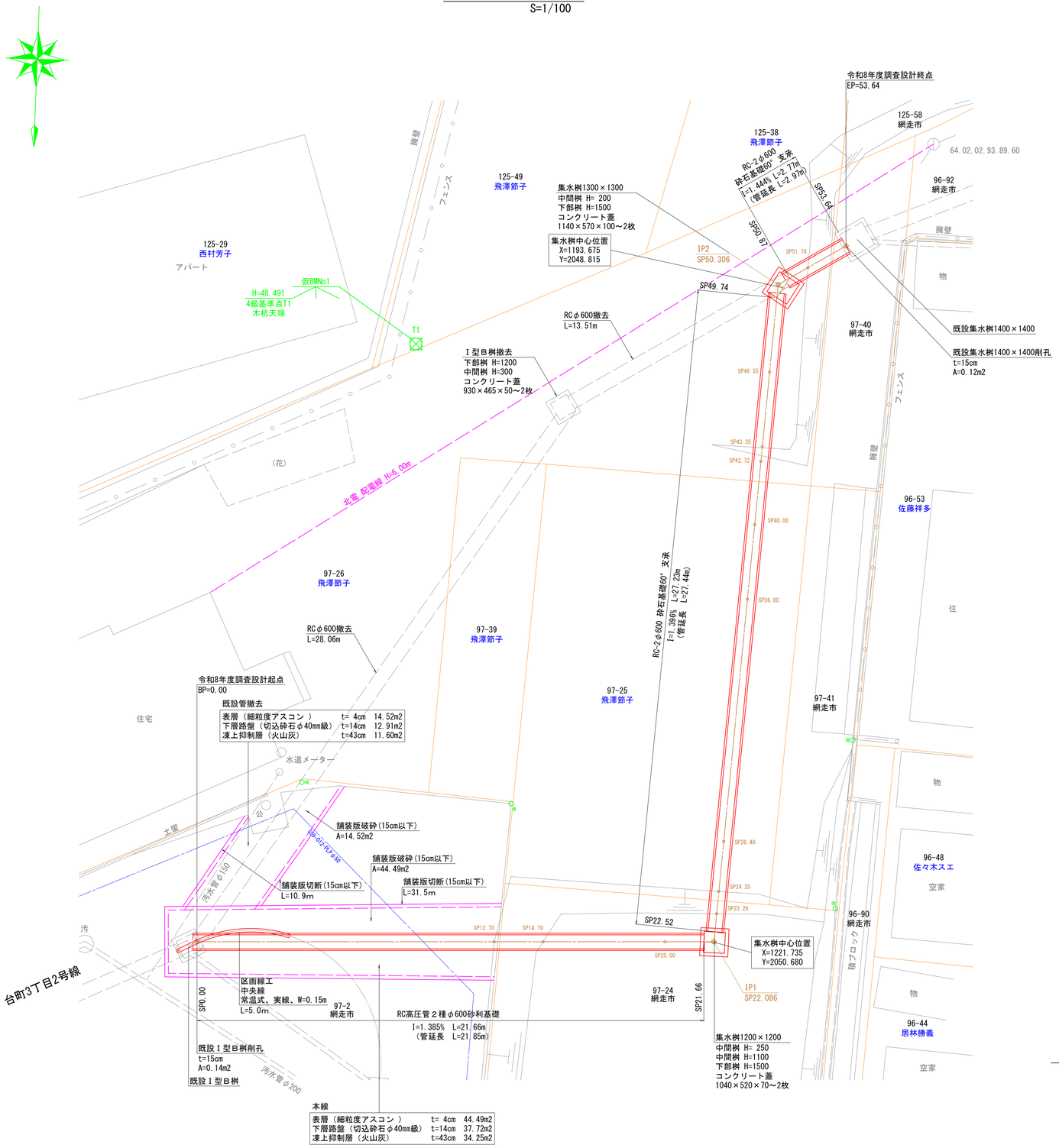
125-38 飛澤節子
令和8年度調査終点
EP=53.64
125-49 飛澤節子
125-58 網走市
96-92 網走市
S3交35
仮BMNo1
H=48.491
4級基準点T1
木杭天端
IP2=50.306
T1
125-29 西村芳子
北電 配電線 H=6.00m
SP40
97-40 網走市
96-53 佐藤祥多
97-26 飛澤節子
97-25 飛澤節子
97-41 網走市
96-73 網走市
96-48 佐々木スエ
97-28 今野哲男
97-39 飛澤節子
SP20
96-44 居林勝義
IP1=22.006
97-24 網走市
令和8年度調査起点
BP=0.00
97-2 網走市
96-90 網走市
96-43
97-31
97-23
T2
96-42
97-22
96-41
97-6
96-89
97-9
96-5
96-6
96-30
96-10
96-57
96-55
96-56
96-59
96-14
96-29
96-87
96-94
96-31
96-13
96-11
96-61
96-65
96-4
96-35
96-7
96-19
96-15
96-12
96-62
96-63
96-64
96-18
96-17
96-32
96-20
96-60
96-67
96-23
96-16
96-22
96-21
96-68
96-3
96-49
96-75
96-71
96-84
96-69
96-51
96-70
96-72
96-77
96-36
96-1
96-66
96-76
96-82
96-83
66-114
66-4
66-98
66-60
66-97
66-96
66-8
97-37
97-29
97-30
97-19
125-31
125-40
125-33
125-41
125-56
125-39
4-14
4-4
4-15
4-16
4-3
4-12
4-10
4-8
4-11
4-7
4-13
2-71
2-78
2-73
5-1
5-7
2-65
2-77
2-63
2-67
2-40
2-41
2-37
2-47
2-50
2-46
2-39
2-49
2-51
2-45
2-38
2-52
2-56

X=1150 Y=2150
X=1150 Y=1950
X=1300 Y=2150
X=1300 Y=1950

縦断管の掘削時には水道管、配電線（北電）が支障になる。
また、既設管撤去時には水道管、公共桝、水道メーター、量水器、境界標が支障になる。
支障物件の詳細については業務報告書内、数量計算書を参照すること。

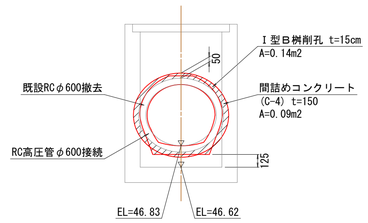
年　度	令和 8 年度		
路線名	台町3丁目2号線		
工事名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図面名	計 画 平 面 図		
縮　尺	1/500	図面番号	2
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

# 平　面　図
S=1/100



既設Ｉ型Ｂ桝
BP= 0.00　S=1/30

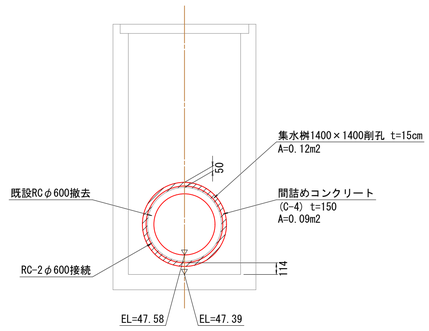
正　面　図



※既設管の外径から5cmを削孔

既設集水桝1400×1400
EP=53.64　S=1/30

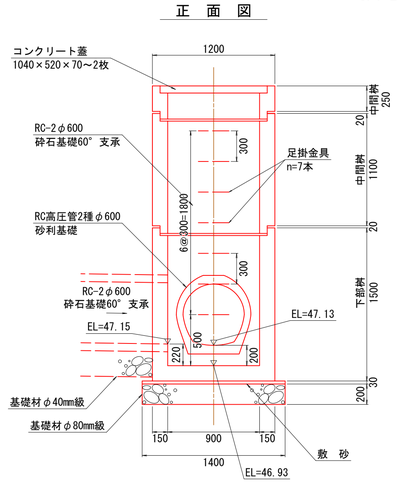
正　面　図



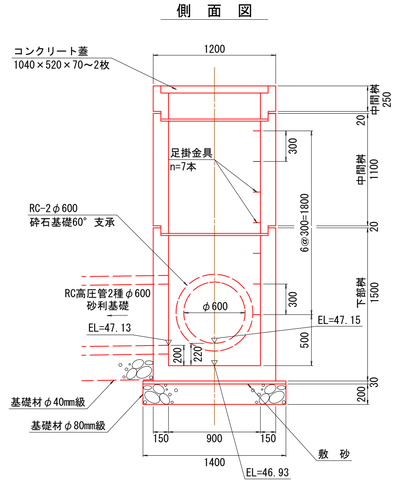
※既設管の外径から5cmを削孔

集水桝　1200×1200
IP1=22.086　S=1/30

正　面　図

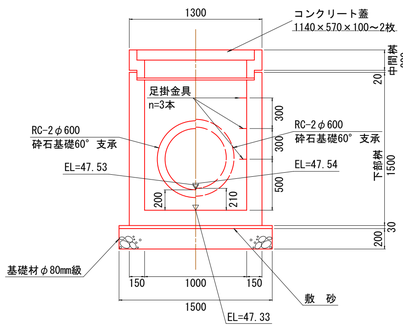


側　面　図

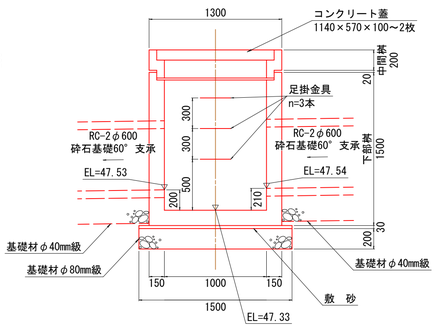


集水桝　1300×1300
IP2=50.306　S=1/30

正　面　図

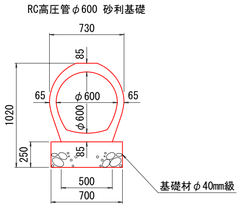


側　面　図



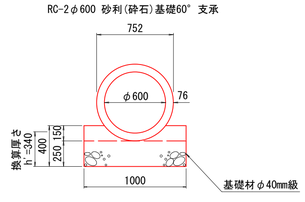
鉄筋コンクリート高圧管 2種
S=1/30

RC高圧管φ600 砂利基礎



鉄筋コンクリート管 2種
S=1/30

RC-2φ600 砂利(砕石)基礎60° 支承

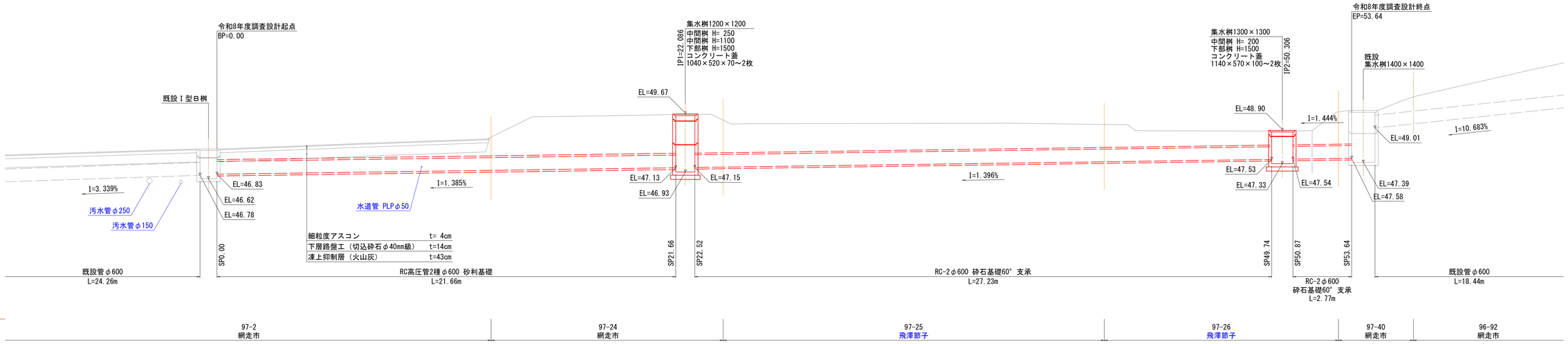


年　度	令和 8 年度
路線名	台町3丁目2号線
工事名	台町3丁目2号線実施設計委託
図面名	縦断管整備詳細図（1）
縮　尺	図　示
図面番号	3
測量年月	令和　8　年　9　月
測量者名	益村測量設計株式会社

網　走　市

縦　断　図

S=1/100

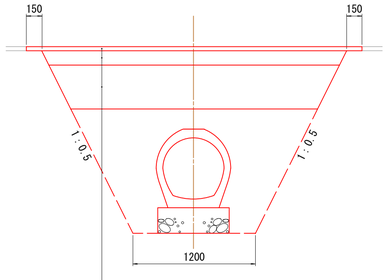


標　準　定　規　図

S=1/30

鉄筋コンクリート高圧管 2種

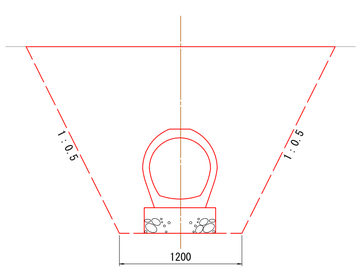
RC高圧管φ600 砂利基礎
［舗装部］



細粒度アスコン t= 4cm
下層路盤工（切込砕石φ40mm級） t=14cm
凍上抑制層（火山灰） t=43cm

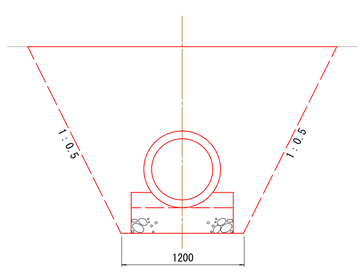
鉄筋コンクリート高圧管 2種

RC高圧管φ600 砂利基礎
［非舗装部］



鉄筋コンクリート管 2種

RC-2φ600 砂利(砕石)基礎60° 支承
［非舗装部］



掘削勾配について
土質、地下水等の現場条件により、床掘勾配を1：0.5とすることが困難な場合、または施工時に掘削断面が自立せず、崩壊するおそれがある場合は、横断図に示す擁壁の影響線（想定）を侵さない範囲において、現地条件に応じた適切な掘削勾配を確保するものとする。また、必要に応じて土留め等の安全対策を講じること。
なお、擁壁の影響線は想定線であるため、影響線に近接して掘削する場合においても、擁壁への影響に十分注意して施工すること。
施工方法については、現地の土質、地下水位、周辺構造物等の状況を十分に確認したうえで、必要な安全対策を検討し、監督員と協議すること。

年　度	令和 8 年度		
路 線 名	台町3丁目2号線		
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図 面 名	縦 断 管 整 備 詳 細 図（2）		
縮　尺	図　示	図面番号	4
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

年　　度	令和 8 年度		
路 線 名	台町3丁目2号線		
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図 面 名	横　断　図 (1)		
縮　　尺	1/100	図面番号	5
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

掘削勾配について
土質、地下水等の現場条件により、床掘勾配を1：0.5とすることが困難な場合、または施工時に掘削断面が自立せず、崩壊するおそれがある場合は、横断図に示す擁壁の影響線（想定）を侵さない範囲において、現地条件に応じた適切な掘削勾配を確保するものとする。また、必要に応じて土留め等の安全対策を講じること。
なお、擁壁の影響線は想定線であるため、影響線に近接して掘削する場合においても、擁壁への影響に十分注意して施工すること。
施工方法については、現地の土質、地下水位、周辺構造物等の状況を十分に確認したうえで、必要な安全対策を検討し、監督員と協議すること。

SP21.66

RC高圧管 2種 φ600 砂利基礎
I=1.385% L=21.66m

RC-2 φ600 砕石基礎60° 支承
I=1.396% L=27.22m

SP20.00
GH=49.62
FH=47.11
1000
906
設計中心線
用地取得予定線
境界線
FH=47.11
DL=45.00
97-25 飛澤節子
97-24 網走市

SP14.79
GH=49.49
FH=47.04
1000
345
用地取得予定線
FH=47.04
DL=45.00
97-25 飛澤節子
97-24 網走市

SP12.70
GH=48.49
FH=47.01
FH=47.01
細粒度アスコン　t= 4cm
下層路盤工（切込砕石φ40mm級）　t=14cm
凍上抑制層（火山灰）　t=43cm
DL=45.00
97-39 飛澤節子
97-2 網走市
97-24 網走市

BP=0.00
GH=48.02
FH=46.83
住宅
境界線
設計中心線
境界線
コンクリート塀
FH=46.83
水道管 PLPφ50
汚水管φ250
細粒度アスコン　t= 4cm
下層路盤工（切込砕石φ40mm級）　t=14cm
凍上抑制層（火山灰）　t=43cm
DL=45.00
97-26 飛澤節子
97-2 網走市
97-31
BP=0.00

SP36.80
GH=49.24
FH=47.35
住宅
境界線
4878
1000
設計中心線
影響線(想定)
境界線
境界線
用地取得予定線
FH=47.35
境界線
DL=45.00
97-26 飛澤節子
97-39 飛澤節子
97-25 飛澤節子
97-41 網走市
96-53 佐藤祥多

SP26.40
GH=49.22
FH=47.20
空家
4914
1000
FH=47.20
DL=45.00
97-2 網走市
97-25 飛澤節子
97-41 網走市
97-90 網走市
96-48 佐々木スエ

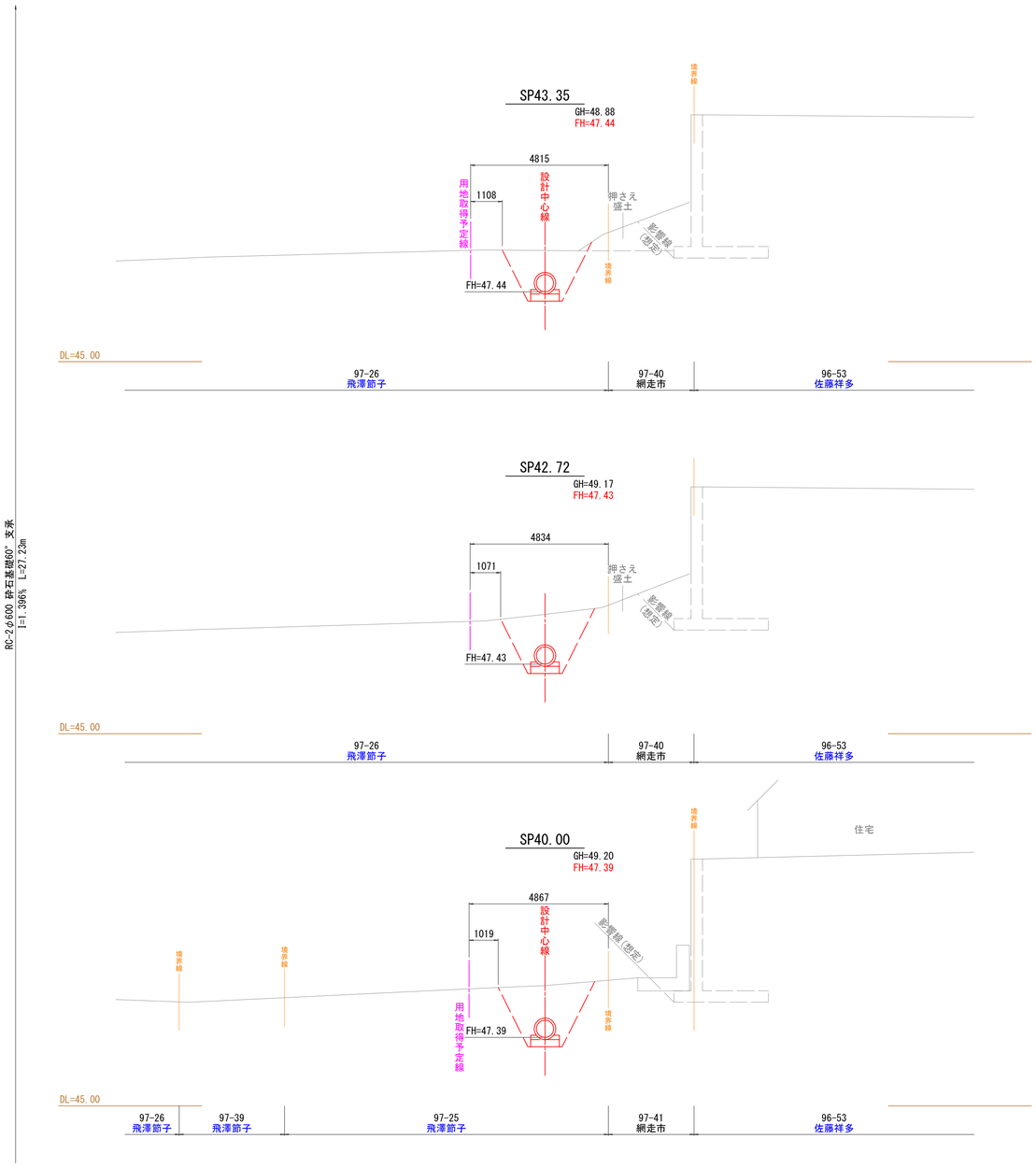
SP24.25
GH=49.19
FH=47.17
空家
4909
1000
FH=47.17
DL=45.00
97-2 網走市
97-25 飛澤節子
97-41 網走市
97-90 網走市
96-48 佐々木スエ

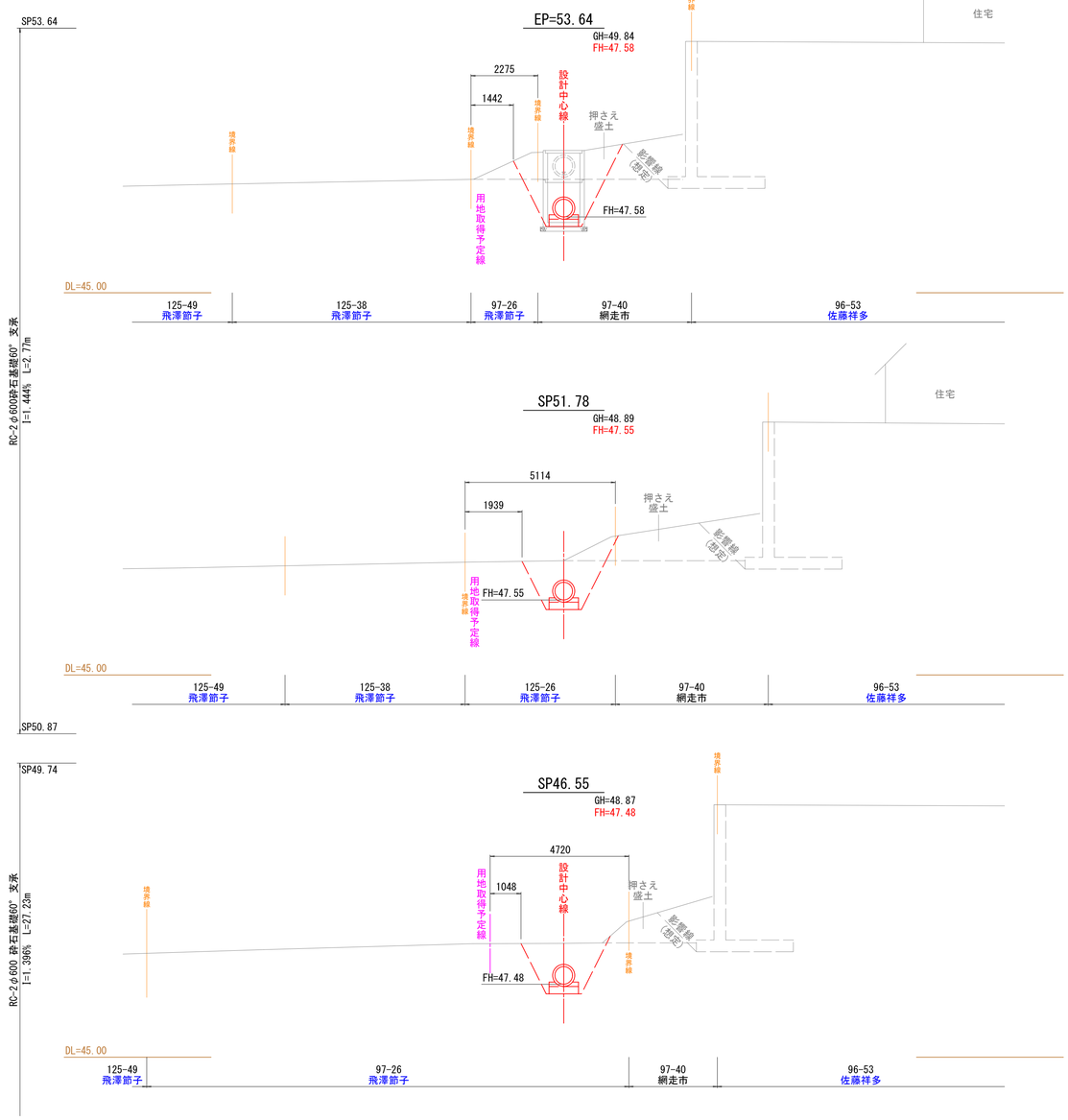
SP23.29
GH=49.65
FH=47.16
空家
境界線
設計中心線
境界線
境界線
FH=47.16
DL=45.00
97-2 網走市
97-24 網走市
97-90 網走市
96-48 佐々木スエ

SP22.52

年　　度	令和 8 年度		
路 線 名	台町3丁目2号線		
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図 面 名	横　断　図 (2)		
縮　　尺	1/100	図面番号	6
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

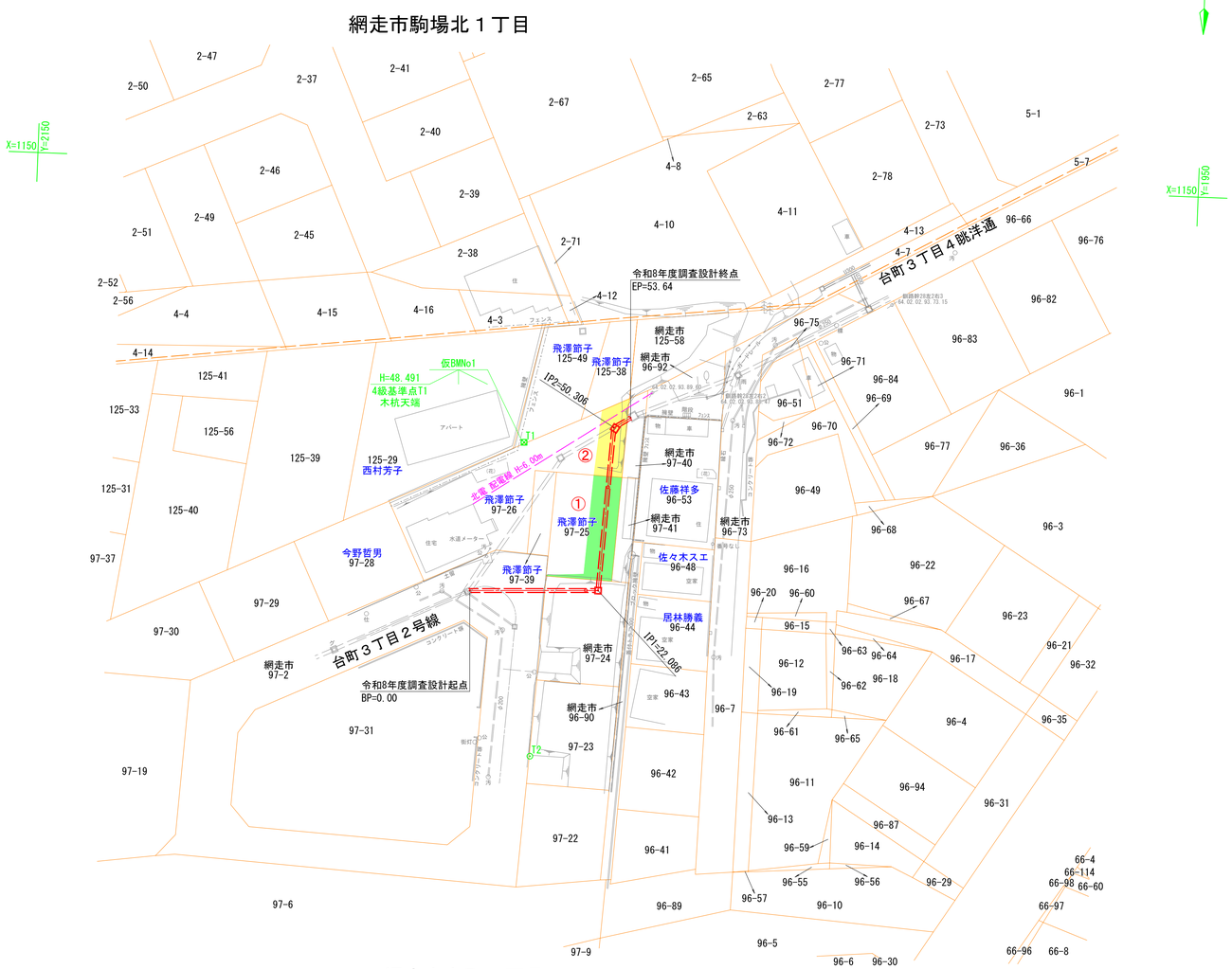
掘削勾配について
土質、地下水等の現場条件により、床掘勾配を1：0.5とすることが困難な場合、または施工時に掘削断面が
自立せず、崩壊するおそれがある場合は、横断図に示す擁壁の影響線（想定）を侵さない範囲において、
現地条件に応じた適切な掘削勾配を確保するものとする。また、必要に応じて土留め等の安全対策を講じること。
なお、擁壁の影響線は想定線であるため、影響線に近接して掘削する場合においても、擁壁への影響に十分注意して
施工すること。
施工方法については、現地の土質、地下水位、周辺構造物等の状況を十分に確認したうえで、必要な安全対策を
検討し、監督員と協議すること。





潰地予定図

S=1/500

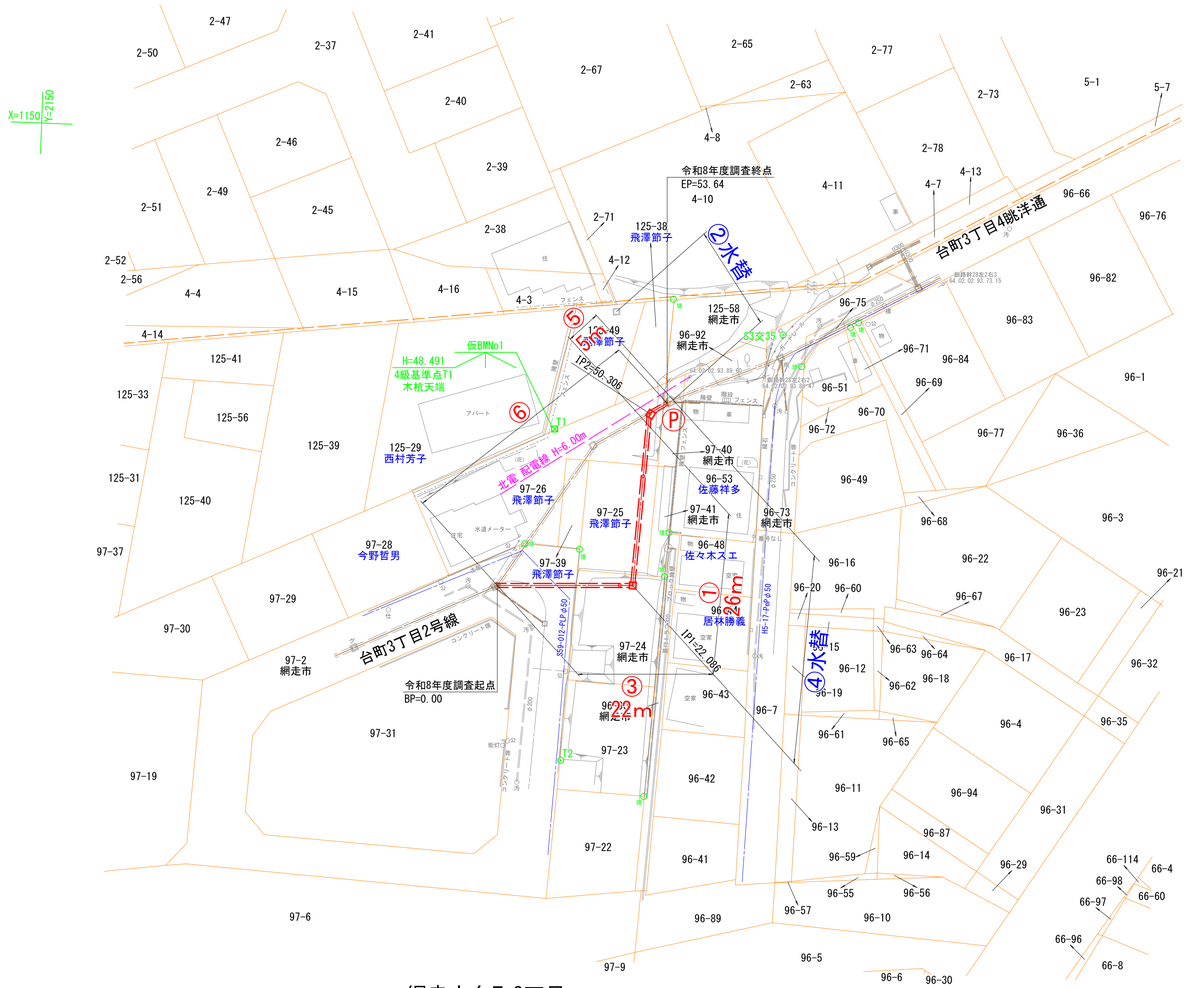


潰　地　面　積　求　積　表

所　在	地　番	所有者名	潰地符号	潰地地目	地積	潰地面積(m2)
網走市台町３丁目	97-25	飛澤　節子	①	宅地	203.76m2	91.34m2
	97-26	飛澤　節子	②	宅地	507.52m2	58.18m2
				合　計	711.28m2	149.52m2

年　　度	令和 7 年度
路 線 名	台町3丁目2号線
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託
図 面 名	潰　地　予　定　図
縮　　尺	図　示　　図面番号　7
測量年月	令和　8　年　9　月
測量者名	益村測量設計株式会社
網　走　市	

施工計画平面図
（参考）　S=1/500



施工計画

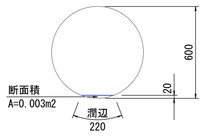
※床掘土の仮置きは、新規路線に沿って網走市所有の土地があるため、そこへ置く
※既設管撤去時の床掘土仮置きは、新規路線に沿って網走市所有の土地を利用する。
※既設縦断管には常時排水があるため、水替日数低減のため、次の施工順序で計画する。

スタート
↓
既設管水路の流水中に①区間を施工する
↓
ポンプ排水により②区間の水替を行う　※流末先の管径が小さいため、降雨時は注意する
↓
③区間の施工を行う
↓
ポンプ排水による水替を④区間に移す
↓
⑤区間の施工を行う
↓
⑥区間の撤去施工を行う

※上記の施工順序によって①区間の施工日数分の水替日数を低減できる。

ポンプの機種・規格・使用台数及び発動発電機の規格について

※水位の計測値については、現地調査時（令和8年6月19日）に終点部の集水桝1400×1400の呑口（上流）側で計測した値を使用した。施工時における実際の流量が想定を上回る場合は、必要な排水能力を確保するため、ポンプの機種・規格及び使用台数について、改めて選定・検討するものとする。



流下流量の算定(調査時)
平均流速公式は、マニング公式を用いる。
水理検討諸元
現況勾配：I = 1/9.36　　断 面 積 ：A = 0.003 m2
粗度係数：n = 0.013　　潤　　辺 ：P = 0.220 m
径　　深：R=断面積/潤辺（m）　　：R = 0.014 m
上記より
平均流速：V=1/n・$R^{2/3}$・$I^{1/2}$（m/s）：V = 1.461 m/s
流下流量：Q=A・V　　（m3/s）：Q = 0.004 m3/s（15 m3/h）

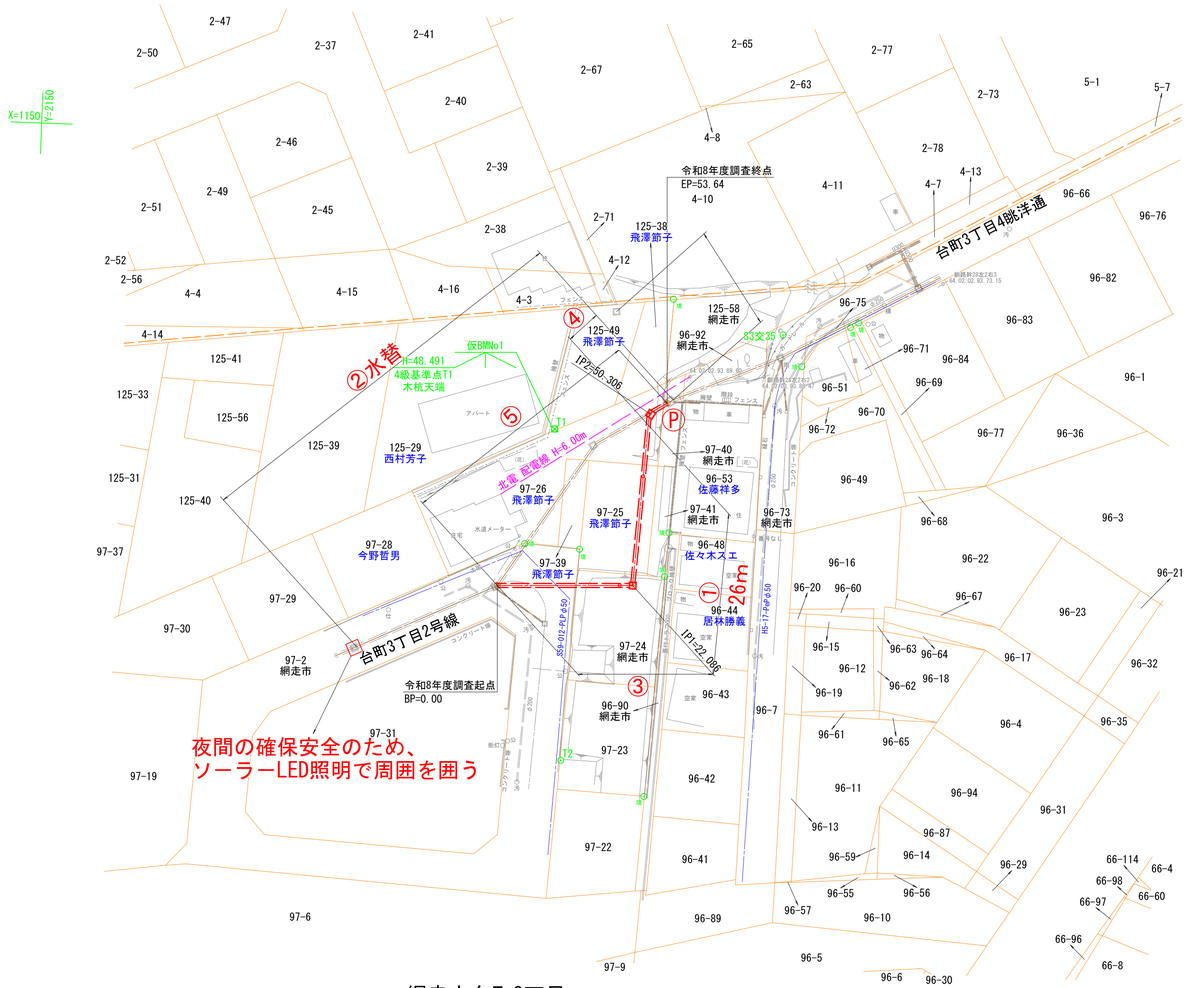
排水量（m3/h）が0以上120未満であるため、
※常時排水　：排水ポンプ 全揚程10m－普通型（潜水ポンプ）口径200mm×１台
　　：発動電動機 全揚程10m－定格容量45kVA×１台

（参考図）

年　度	令和 8 年度		
路線名	台町3丁目2号線		
工事名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図面名	施工計画平面図（参考）(1)		
縮　尺	1/500	図面番号	8-1
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			

施工計画平面図
（参考）　S=1/500

網走市駒場北1丁目



施工計画

※床掘土の仮置きは、新規路線に沿って網走市所有の土地があるため、そこへ置く
※既設管撤去時の床掘土仮置きは、新規路線に沿って網走市所有の土地を利用する。
※既設縦断管には常時排水があるため、水替日数低減のため、次の施工順序で計画する。

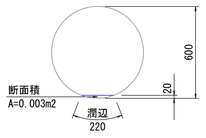
スタート
↓
既設管水路の流水中に①区間を施工する
↓
ポンプ排水により②区間の水替を行う
↓
③区間の施工を行う
↓
④区間の施工を行う
↓
⑤区間の撤去施工を行う

※流末先の桝が道路内にあるため、
夜間の安全を確保する目的で、
ソーラー式ＬＥＤ照明で周囲を囲う

※上記の施工順序によって①区間の施工日数分の水替日数を低減できる。

ポンプの機種・規格・使用台数及び
発動発電機の規格について

※水位の計測値については、現地調査時（令和8年6月19日）に
終点部の集水桝1400×1400の呑口（上流）側で計測した値を使用した。
施工時における実際の流量が想定を上回る場合は、必要な排水能力を
確保するため、ポンプの機種・規格及び使用台数について、改めて
選定・検討するものとする。



流下流量の算定(調査時)
平均流速公式は、マニング公式を用いる。
水理検討諸元
現況勾配：I = 1/9.36　　断 面 積 ：A = 0.003 m2
粗度係数：n = 0.013　　潤　　辺 ：P = 0.220 m
径　　深：R=断面積/潤辺（m）　　：R = 0.014 m
上記より
平均流速：V=1/n・$R^{2/3}$ ・$I^{1/2}$（m/s）：V = 1.461 m/s
流下流量：Q=A・V　　（m3/s）：Q = 0.004 m3/s（15 m3/h）

排水量（m3/h）が0以上120未満であるため、
※常時排水　：排水ポンプ 全揚程10m－普通型（潜水ポンプ）口径200mm× 1 台
：発動電動機 全揚程10m－定格容量45kVA× 1 台

（参考図）

年　度	令和 8 年度		
路 線 名	台町3丁目2号線		
工 事 名	台町3丁目2号線実施設計委託		
図 面 名	施工計画平面図（参考）(2)		
縮　尺	1/500	図面番号	8-2
測量年月	令和　8　年　9　月		
測量者名	益村測量設計株式会社		
網　走　市			